

## 事業概要書

事業名	平成 30 年 7 月豪雨災害ボランティアバスプロジェクト				
開始日	2018 年 7 月 14 日	終了日	2018 年 9 月 30 日	日数	80 日
団体名	被災地 NGO 協働センター				
(カウンターパート)	出雲市総合ボランティアセンター、山口災害救援、ひちくボランティアセンター、灘高校				
担当者名	上野智彦	スタッフ人数	2 人		

事業費総額 (税込)	1,180,000 円
CF 事業枠	1,000,000 円
その他資金	180,000 円

事業目的	平成 30 年 7 月豪雨災害の被災者支援のためのボランティアを送り出す	
事業全体の概要	<p>●被災地 NGO 協働センターとは 阪神・淡路大震災以来、さまざまな国内災害に対応してきたボランティア団体。被災地、被災者に寄り添い、中長期的な復興支援まで見据えた支援を行なっている。「最後の一人まで」「一人ひとりに向き合う」ことをモットーとして活動を行なっている。</p> <p>●取り組むべき課題 平成 30 年 7 月豪雨災害は、広範囲にわたり大きな被害をもたらしている。1ヶ所ごとの災害規模も甚大であり、かつ広域であるため、各地に必要なボランティアが不足している状況が続いており、関西圏や九州圏など比較的近隣地域から継続してボランティアが活動に向かうことが必要である。</p> <p>●パートナー協働プログラム対象事業 □ボランティアバス事業 神戸や鳥取、島根、大分など被災地近隣からカウンターパートを掘り起こし、ボランティアバスを送る。 3回/月 程度でボランティアバスを実施する。 バスの出発地は近隣の駅から(神戸、鳥取、島根、大分)各回15名～を想定。 バス会社などのマイクロバスもしくは、中型バスで運行予定。</p> <p>●期待される効果 ・近隣からのボランティアバス運行により効率的にボランティアを確保できる ・定期的にまとまった数のボランティアを送り出すことで、被災地での泥出しや建物内外の片付けなどを行い、復興の促進の一助となる</p>	
	事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
	□ボランティアバス事業 神戸や鳥取、島根、大分など被災地近隣からカウンターパートを掘り起こし、ボランティアバスを実施。	広島・岡山・愛媛の被災者 ボランティア (20 人 ×7 台=140 人)